

# 業務部速報



No. 28

発行 24. 11. 15

JR東労組 業務部

申5号

組合員・社員の労働実感と生活実感の切実な現実と声に応え、現場第一としない経営姿勢の是正を求める**年末手当**に関する**緊急再申し入れ** 団体交渉を行う！①

緊急アンケートで寄せられた声

**16,387**件

+各地方本部から上げられた声

回答に不満・やや不満……………93.4%  
労働実感に報いていない……………87.1%  
生活実感が反映されていない……………93.3%  
モチベーションが下がる……………87.6%  
離職が止まるとは思わない……………81.3%

**回答の撤回を求める！**



会社の主な回答

- ・頂いた意見は受け止める。
- ・今できる**最大限の回答**である。
- ・2.8ヶ月+0.1ヶ月で2.9ヶ月を変える判断に至らない。
- ・**最終回答**である。



会社は回答を

**撤回せず!!**

□「2.8ヶ月+0.1ヶ月」回答を受けた組合員・社員の声について

組合の主な主張	会社の主な回答
■回答後、どのような声を掴んでいるのか。	□少しでも多い方がいいという意見は会社としても聞いている。一方、今の現状を見ればこの水準が妥当であるや、出て良かった等の様々な声はある。
■回答に 93.4%が不満、やや不満と、圧倒的多数が不満だ。会社も不満という人が多いという感覚か。	□ポジティブな、出て良かったというような意見を多くいただいている。一方、もう少し支給月数、額が多い方がいいという意見も様々ある。
■職場で納得している人は一人もいなかった。会社が把握している声はどのようなものか	□(モチベーションが)下がるとの声もあったが、逆にこんなにでいいのか、もっとがんばろうという声もあった。
■多くの組合員・未加入者・社友会会員が不満を感じている。現場と経営側の溝が広がっている。 <b>会社に届けられた声は社員の本音なのか!?</b>	□経営幹部や職場の管理者に社員の反応として寄せられた声は、「もっと欲しい」もあったが、一定数納得の声があるのも事実。現場と経営の溝が深まっているとあったが、必ずしもネガティブにとらえていない社員もいる。溝が深まっている認識はない。管理者や本社幹部が足を運び、より一層社員の声を掴むことに力をいれたい。
■最終回答だとあったが、現場の経営との溝は深まり危機感を感じる。	□ネガティブに捉えていない社員もいることから、全体的に溝が深まったとは思っていない。

中央本部に声を寄せ、交渉を共に創って頂いたすべての仲間に感謝申し上げます！

**交渉で明らかになった経営姿勢を突破するために、共に立ち上ろう！**